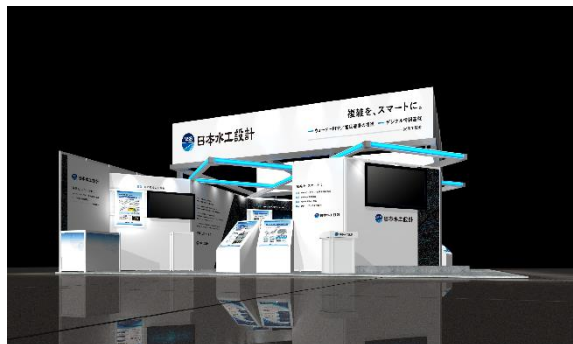


下水道展'24 東京 出展コンセプト「複雑を、スマートに。」

持続可能な下水道事業の実現に向けて、当社では様々なデジタル技術や DX 施策等を駆使しながら PPP/PFI 事業を支援するとともに、下水道施設の効果的な管理・運用を通じた下水道事業の発展に取り組んでいます。そこで今年、「ウォーターPPP／官民連携の推進」を中心テーマに、三浦市コンセッション事業の事例紹介や、これら事業マネジメントを実現する「デジタル情報基盤」についてご紹介いたします。



この他にも「雨天時浸入水調査」を支援する技術や、下水道事業の効率化・省人化を推進する「テクノロジーの積極活用」の事例についてご紹介いたします。

皆様の日本水工設計ブースへご来場、心よりお待ちしております。

テーマ1「ウォーターPPP／官民連携の推進」

処理場、ポンプ場、汚水管路を含む公共下水道施設すべての運転・維持管理・改築を対象とした”フルセット”のコンセッション事業である三浦市における取り組みを中心にご紹介いたします。また、「The Inside Voices ～三浦市ウォーターPPP プロジェクトメンバーの声～」と題したインタビュー動画を放映します。

テーマ2「デジタル情報基盤」

当社では、官民連携を支える各種のデジタル技術を駆使して下水道施設の効果的な管理・運用を推進しています。そこで、維持管理データを起点にデータ主導のマネジメントサイクルを確立し、精度の高い予測や適切な対策を行うためのデジタル情報基盤「AssetMan® Base」をご紹介します。

テーマ3「雨天時浸入水調査」

当社では、様々な調査技術を駆使し、雨天時浸入水調査に課題を抱える自治体のお手伝いをしています。ブースでは第6回インフラメンテナンス大賞において優秀賞を受賞した「ラインスクリーニング」をはじめとする3つの調査技術についてご紹介いたします。

テーマ4「テクノロジーの積極活用」

当社では未来に向けたテクノロジーを積極的に活用し、下水道事業の効率化・省力化に貢献します。ブースでは、3D点群データ、ドローンによる現況確認と点検、フォトグラメトリを活用した取り組みについてご紹介いたします。

技術詳細はこちら <https://www.n-suiiko.co.jp/gesuidouten/>